

## Client Alert

15 April 2025

本アラートに関する  
お問い合わせ先：



竹中 陽輔  
パートナー  
03 6271 9548  
[Yosuke.Takenaka@bakermckenzie.com](mailto:Yosuke.Takenaka@bakermckenzie.com)



中野 綾子  
アソシエイト  
03 6271 9879  
[Ayako.Nakano@bakermckenzie.com](mailto:Ayako.Nakano@bakermckenzie.com)

## グローバル：ハーグ・システムの変更

2024 年末から 2025 年初めにかけて、ハーグ・システムに新たに 2 か国が加わり、ハーグ・システムの加盟国は 99 か国になった。ウズベキスタンは 2024 年 12 月 12 日に 98 番目の国（ハーグ協定の加盟国としては 81 番目）となり、サウジアラビアは 2025 年 1 月 20 日に 99 番目の国（ハーグ協定の加盟国としては 82 番目）となった。

さらに、2024 年 11 月 22 日、ハーグ連合総会は、1960 年のハーグ法の適用を停止することを決定した。したがって、2025 年 1 月 1 日以降、国際意匠出願はジュネーブ法（1999 年）に基づいてのみ出願・指定が可能となった。

### ウズベキスタンとサウジアラビアがハーグ・システムに加盟

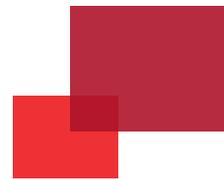
2025 年 1 月現在、対象国は 99 か国に増加した。2024 年 12 月 12 日、ウズベキスタンが 98 番目の国としてハーグ・システムに加盟した（81 番目のハーグ協定加盟国）。その直後の 2025 年 1 月 20 日、サウジアラビアもハーグ・システムに加盟し、加盟国は 99 か国に増加したと発表された（82 番目のハーグ協定加盟国）。サウジアラビアは 2025 年 1 月にハーグ・システムに加盟したが、2025 年 4 月 7 日まではサウジアラビアを国際意匠出願国に指定することはできなかった。

### ハーグ法の停止

工業意匠の国際登録を規定するハーグ協定は、これまでロンドン法（1934 年）、ハーグ法（1960 年）、ジュネーブ法（1999 年）によって規定されてきた。これらの法律はそれぞれ国際意匠制度を更新する規定を含んでおり、互いに独立している。ロンドン法（1934 年）は 2010 年に停止され、それ以降は、意匠権者は、ハーグ法（1960 年）またはジュネーブ法（1999 年）の規定、あるいは出願国によってはその両方の規定に基づいて国際意匠出願を行うことが可能となっていた。

2024 年 11 月 22 日、ハーグ連合総会は、2025 年 1 月 1 日をもって 1960 年ハーグ法の適用を停止することを決定した。これにより、国際意匠の新規出願はすべて、ジュネーブ法（1999 年）に定められた規定に従わなければならないようになった。ハーグ法（1960 年）の停止に加え、権利不要求（graphical disclaimer）に関するインストラクション 403 も更新された。従来、権利不要求（graphical disclaimer）は、明細記述、又は図面等の複製物において点線・破線・着色により、出願人の裁量で行うことができた。このため、意匠の視覚的な表現と権利不要求の表現の間に混同が生じ、結果として庁からのオフィスアクション発出につながるがあった。今後は、権利不要求の場合は、出願人は明細書に裏付けとなる説明を記載することが義務付けられた。

ハーグ法（1960 年）が停止された主な理由の一つは、国際意匠制度を簡素化するためである。ロンドン法（1934 年）とハーグ法（1960 年）の停止により、ジュネーブ法（1999 年）のみが適用されることになり、国際意匠制度は



より統一化され、ジュネーブ法（1999年）の締約国が増えるため、意匠権者はより広い国際的な範囲をカバーすることができるようになった。

ハーグ法（1960年）に基づいて出願された既存の登録については、権利者は変更を加える必要はなく、権利者はハーグ法（1960年）に基づいて意匠登録を更新または変更することが可能である。

### **次のステップ**

ハーグ・システムが99か国に拡大され、ハーグ法（1960年）が停止されたことにより、国際意匠制度はより近代的で効率的な意匠出願制度となった。特に意匠をグローバルに保護しようとする場合、ハーグ制度を利用して効率的に意匠出願を行うことは、有用な手段の一つであろう。